

21世紀の戦争と平和

国際政治学者
三浦 瑠麗

- *日本の失敗経験を活かそう
- *戦争を引き起こすシベリアン
- *兵力を上回る動員のトリック
- *平等でない生命のコスト
- *軍という存在とは何か
- *市民としての権利がない兵士
- *血のコストを共有する
- *これからの徴兵制
- *自ら平和の途を考える
- *現代の郷土防衛隊とは



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は国際政治学者の三浦先生においていただきます。1980年生まれで、東大の理料一類から農学部を経て、公共政策学部で大学院に進まれ、その後、法学博士号を取られたというところでございます。しばらく東大に所属しておられました。2月でお辞めになったそうです。この間、山内先生がここに来られたときもおっしゃっていましたけれども、東大というブランドの下では自由な発言がしにくいところがあるようにございます。三浦先生は前からメディア等でもいろいろ大胆にお話をされる方でございますが、いよいよこれから磨きがかかってくるのではないかと期待しております。政治の世界はわれわれから見てもあまり展望がないの

ですけれども、今日は先生のライフワークの一つであります戦争と平和の問題についてお話させていただきます。今はグローバルゼーションのことを研究されているということでございまして、皆さんもご興味があると思いますので、そのときはまたお呼びをしたいと思います。今日は新潮社の方が先生の最新のご本を販売しておりますので、ご興味のある方はぜひお買い求めいただきしたいと思います。それでは三浦先生よろしくお願いたします。（拍手）

日本の失敗経験を活かそう

三浦 皆様こんにちは。久しぶりにお目にかけられます。よろしくお願いたします。

先ほどご紹介ありがとうございます。本日、